



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。



この症状はどんな病気？～根こぶ病～

【根こぶ病(Plasmodiophora brassicae)】



根部に大小さまざまなコブが多数形成される。ネコブセンチュウ類によるコブよりも大きく、表面は**白色平滑で固い**が、**後に褐変して腐敗**する。茎葉は生育が衰え、葉色が淡くなり、晴天の日には株全体が萎れる。気温や地温が**18～25℃**、**pH6.0以下**の酸性土壌や排水不良の圃場で発生が多い。休眠胞子が、**土壌中に数年間生存し**、土壌伝染する。

フロンサイド粉剤

根こぶ病すべてのステージで殺菌効果！

- ☆ 抗菌スペクトラムが広い土壌殺菌剤
- ☆ おとり植物との併用も可能
- ☆ 石灰類との併用で根こぶ病防除効果UP

対象病害	使用量	使用時期	使用方法	回数
根こぶ病	15～20kg/10a 30～40kg/10a	は種又は定植前	作業土壌混和	2回 ※ただし、苗床では1回以内 本圃では1回以内
菌核病			全面土壌混和	
苗立枯病(リゾクトニア)	40kg/10a			



ネビジン粉剤

根こぶ病の生活環の3箇所を阻害！

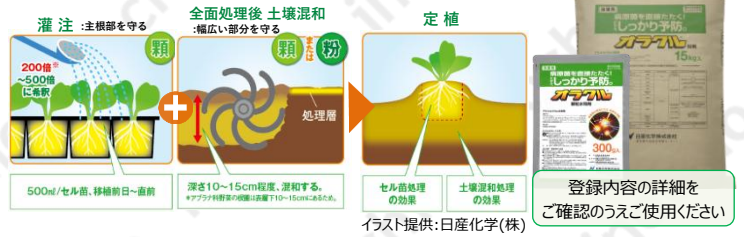
- ◆ 環境や土壌の影響を受けにくい
- ◆ 継続使用で安定した効果が持続
- ◆ 薬剤処理から間隔が空いても高い効果

対象病害	使用量	使用時期	使用方法	回数
菌核病	30kg/10a	定植前	全面土壌混和	2回
根こぶ病	20～30kg/10a	は種又は定植前		
	20kg/10a			



発病が激しい圃場では… オラクル 粉剤/顆粒水和剤

セル苗灌注処理+土壌全面処理後混和の体系処理により、より高い予防効果が期待できます！



害虫対策におすすめ薬剤

⚠ 防除チラシ掲載農薬は年間の通し回数をカウントしていません！
ご自身の散布履歴に合わせて薬剤を検討してください！

IRAC FRAC	対象害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数
30	ウバ類・コナガ・アザミウマ類・オオバコガ・アオムシ ハイマダラノメカガ・ハスモンヨトウ・シロイモジヨトウ	グレーシア乳剤※	2000～3000倍	7日前	2回
30	ウバ類・コナガ・ハイマダラノメカガ・オオバコガ・ ヨトウムシ・ハスモンヨトウ・シロイモジヨトウ・アオムシ	ブロフレアSC	2000～4000倍	前日	3回
28	アブラムシ類・ハダカ類・ウバ類・コナガ・ヨトウムシ・ ハスモンヨトウ・シロイモジヨトウ・アザミウマ類・アオムシ・ キスジノミハムシ・ハイマダラノメカガ・オオバコガ	兼商ヨーバルフロアブル	2500～5000倍 (ハダカ類・キスジノミハムシ:2500倍)	前日	3回
14	アブラムシ類・カタツムリ類・コナガ・アザミウマ類・ ナメクジ類・ハイマダラノメカガ・アオムシ	リーフガード顆粒水和剤	1500倍	7日前	3回

※結球あぶらな科葉菜類登録

非選択性茎葉処理型除草剤

サンダーボルト 007 ダブルオーセパン

すばやく効く + 根まで枯らして長く効く
ピラフルフェンエチル + グリホサートイソプロピルアミン塩

スベリヒユ・セイタカアワダチソウ・スギナなど
しぶとい問題雑草にも！

100㎡ (30坪) あたり	一般的な一年生雑草	しぶとい多年生雑草 特定外来生物	厄介なスギナ
	50ml/水10ℓ	100ml/水10ℓ	400ml/水10ℓ



土壌病害・雑草防除に バスアミド

微粒剤

苗立枯病(リゾクトニア)・株腐病
萎黄病・ハダカ類・アオムシ
根こぶ病・ネコブセンチュウ・一年生雑草
20～30kg/10a 1回
は種又は定植21日前まで

雑草にお困りの方におすすめ！
土壌病害・センチュウ・雑草種子に効果あり！

- ① 砕土を丁寧に行う
→固まっている土の内部は消毒されません！
- ② 可能な限り被覆を行う
→被覆を行わないと薬剤が抜けやすくなります

